

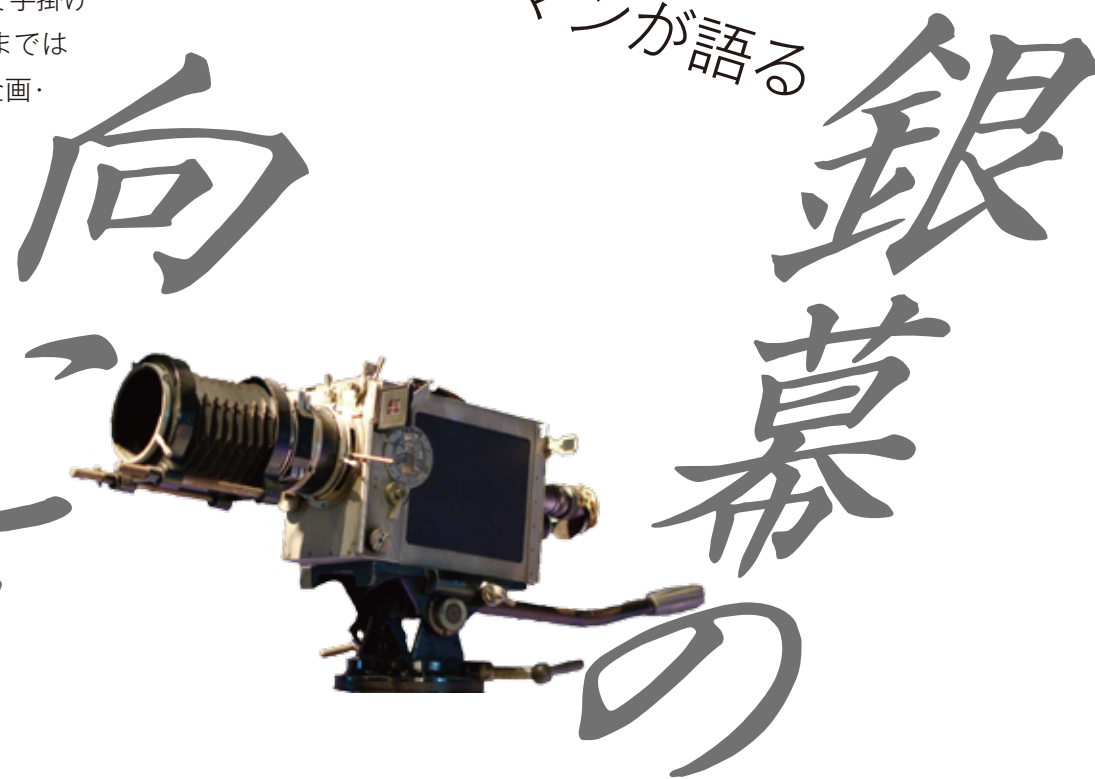
講師：松尾民夫

1957年、東宝撮影所製作部技術課入社。以後、1993年まで映画製作に携わる。撮影スタッフとして手掛けた劇映画は約58本。さらに80年から93年までは製作部スタッフとして制作・技術などの企画・調整・仕上げを担当。

黒澤作品には『悪い奴ほどよく眠る』（'60）から『影武者』（'80）、『まあだだよ』（'93）まで、撮影・製作の両方で約30年にわたって参加。また、成瀬巳喜男（『杏っ子』）や岡本喜八（『激動の昭和史 沖縄決戦』）、森谷司郎（『日本沈没』）、市川崑（『細雪』）ら戦後日本映画を代表する巨匠たちとも仕事を共にする。

キャリアを通じて関わった劇映画は100本を超える。

元東宝カメラマンが語る



戦後日本映画の舞台裏

敗戦の焼け跡から再び立ち上がった日本映画は、瞬く間に世界的に評価される芸術へとなりました。そんな映画黄金期の1957年に東宝のカメラマンとしてキャリアを始めた松尾さんは、その後、戦後日本を代表する監督の一人である黒澤明氏の作品に、約30年にわたり携わっていくことになります。今回は松尾さんと黒澤作品との長年の関わりを軸にしつつ、その間にご自身がスタッフとして見て来られた戦後日本映画の歩みを、きら星のごとき大スターや巨匠の逸話を織り交ぜながら語っていただこうと思います。

Haegatari
Livetalk

NO. 37

Information



NANTOGAKU
LIVETALK

Date:

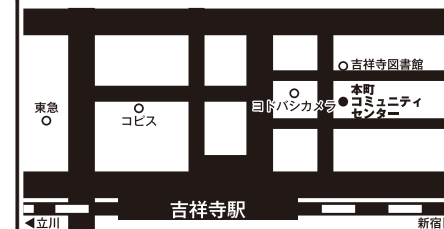
2015/9/26 (sat) 14:00-16:00
※終了後懇親会あり

Cost:

カンパ制（任意）

Location:

武蔵野市本町コミュニティセンター
和室 1 長生（2F）
武蔵野市吉祥寺本町 1-22-2
吉祥寺駅北口徒歩 5 分



Contact:

050-7542-2018（稲垣）
※当日のみ
info@tokarajuku.sakura.ne.jp
※前日まで対応
<http://www.tokarajuku.sakura.ne.jp/>